

関係各位

日本スーパー・フェザー級タイトルマッチに係る報告

日本スーパー・フェザー級タイトルマッチ（2022年9月7日大阪）、チャンピオン坂晃典（仲里）対挑戦者、奈良井翼（RK蒲田）戦に関し、RK蒲田ジムより2ラウンドのスリップ裁定並びに4ラウンドのリング落下に係る処置について抗議文及び嘆願書が提出されました。この件に関し下記の通りご報告いたします。

記

1 事実関係

- (1) 第2ラウンドに奈良井選手のパンチを受け坂選手がキャンバスに手をついたが、レフェリーはスリップと裁定した。レフェリーはインターバル中にジャッジ3者に確認したが裁定は変わらなかった。
- (2) 第4ラウンド、ダウンを奪われた坂選手は再開直後奈良井選手に組み付くようにホールディングを行いそのため両選手がリングから落下した。

2 検証結果

- (1) 映像で検証した結果、当該試合を担当したレフェリー、ジャッジ4者全員がダウン裁定するべきであったとした。
- (2) リングからの落下の原因は、リングロープが著しく緩いためであった。この点試合直前にリングロープの緩さについて奈良井陣営より指摘があったが、スーパーバイザーはそのまま試合を許可した。そのため奈良井選手が優勢であった状況を減殺させる結果となった。また選手の安全管理上も問題のある判断であった。

3 総括

ご迷惑をお掛けした関係各位に心より陳謝するとともに、下記のような対策を講じ再発防止に努めることとした。

- (1) レフェリーに対して常に適切なポジションを維持するよう指導する。
- (2) リングロープに関しては、西日本ボクシング協会およびリング設営業者に対し安全性を高める施工を依頼し、当該状態での使用を以後禁止する。
- (3) 担当スーパーバイザーに対し適切な試合管理ができるよう指導を徹底する。
- (4) 検証結果を踏まえ、奈良井選手に関しランキング上正当な評価をする。

以上

2022年12月17日

一般財団法人日本ボクシングコミッション